

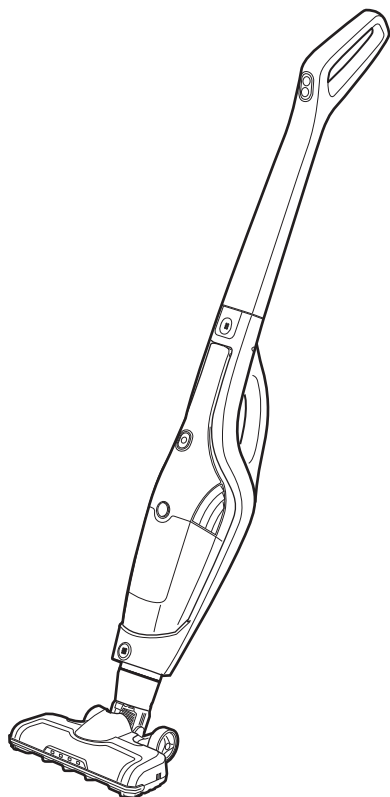
取扱説明書

AQUA

コードレス スティック クリーナー

家庭用 (業務用としては使用しないでください)

品番 AQC-LX1F



もくじ

安全上のご注意	2~5
使用上のお願い	5
各部のなまえ	6
ご使用前の準備	7
充電のしかた	8
お掃除のしかた	9~10
お掃除のあとに	11~13
お手入れ	13~15
別売品	16
故障かな?と思ったとき	16~17
仕様	18
製品の廃棄について	18
保証とアフターサービス	18
お客さまご相談窓口	19
保証書	裏表紙

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また本書は保証書も兼ねています。必ず、お買い上げ日・お客様名・販売店名などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証書付
(裏表紙)

日本国内専用
Use only in Japan

ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

<http://aqua-has.com/support/reg/>



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

- 表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）
- 図記号の説明

 危険	「死亡、または重傷を負う可能性が高い内容」を示します。		「危険」「警告」「注意」を促すことを示します。
 警告	「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。		してはいけないこと「禁止」を示します。
 注意	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。		しなければならないこと「指示」を示します。

本体および充電台・ACアダプターについて

警告



指示

●異常・故障時にはすぐに使用を中止する

（火災・感電・けがの原因）

異常・故障例

- ・運転スイッチを押しても、運転しない。
- ・ACアダプターやコードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・運転中、ときどき止まる。
- ・運転中、異常な音がする。
- ・本体や充電台が変形していたり、異常に熱い。
- ・こげくさい臭いがする。

すぐに運転を停止し、ACアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはお客さまご相談窓口にて点検・修理をご依頼ください。

●本製品は安全に使用できる環境下かつ安全な使いかたと危険性を理解している方の指示監督のもとで使用する

（けが・やけど・感電の原因）

特にお子様遊ぶことがないようにご注意ください。



禁止

●ACアダプターやコードが傷んだり、熱くなったり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない

（火災・感電・けが・ショートの原因）

ACアダプターは根元まで確実に差し込んでください。

●コードを傷付けない

（火災・感電・ショートの原因）

- ・加工しない
- ・熱器具に近づけない
- ・引っ張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしない
- ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねて通電したりしない

●専用のACアダプターは、AQC-LX1F以外の充電式電池の充電、または使い切り電池の充電などには使用しない

（液漏れ・発熱・発火・破裂の原因）



禁止

●専用の充電台やACアダプター以外は使用しない

（火災・感電・故障の原因）

●充電台や本体の各端子間を金属などで接続しない

（感電・ショート・発火・故障の原因）



指示

●電源は交流100Vのコンセントを使用する

（火災・感電の原因）

●ACアダプターは根元まで確実に差し込む

（感電や発熱による火災の原因）

●ACアダプターの刃や刃の取り付け面にホコリが付いた場合は、乾いた布で拭き取る

（ACアダプターにホコリがたまると、湿気などで、絶縁不良による火災の原因になります）

警告



指示

- お手入れをするとき、点検をするときは、必ず運転を停止し、ACアダプターをコンセントから抜く
(感電・けがの原因)



禁止

- ぬれた手でACアダプターを抜きささない
(感電・けがの原因)



禁止

- 幼児の手の届くところには置かない
(事故・感電・けがの原因)



- ダストカップを外したまま運転しない
(事故・故障の原因)

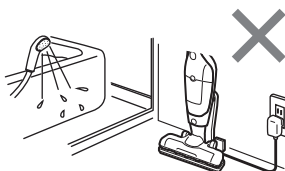
- 火やストーブのそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など、高温の場所に保管しない
(発熱・発煙・破裂・発火の原因)



禁止

- 水洗いや、風呂場・屋外では使用しない(水洗いできる部品を除く)
(ショート・感電の原因)

- 浴室の近くなど湿気の多いところや、水にぬれるところでは充電しない
(感電・発火・異常発熱の原因)



禁止

- 改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
(火災・感電・けがの原因)
修理は、お買い上げの販売店またはお客様さまご相談窓口にご相談ください。



禁止

- 次のようなものは、絶対に吸わない

(火災・感電の原因)

- ・アルミニウム、マグネシウム、チタン、亜鉛などの爆発性粉じん
- ・ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料などの引火性のものや、水、油、薬品などの液体
- ・たばこの吸いながら、灰などの高温のものや、高速切断機、グラインダー、溶接機などから発生する火花を含む粉じん
- ・石こう、セメントなどの粉じん
- ・鉄粉、カーボンなどの可燃性、導電性粉じん
- ・ガラス、ピン、針、つまようじなどの鋭利なもの
- ・ペットなどの排泄物が付着したもの



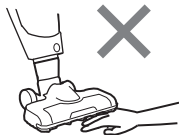
禁止

- 充電完了直後は、本体及び充電台の各端子には触れない

(やけどの原因)

- 動作中はパワーブラシの回転ブラシや本体の吸込口、排気口には触れない
(けがの原因)

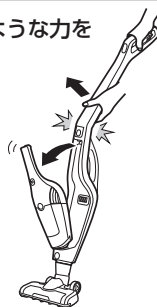
特にお子様にはご注意ください。



禁止

- 本体が折れ曲がるような力をかけると、破損やハンディユニットが外れるおそれがあります。

(破損・ハンディユニット落下の原因)



⚠ 注意



禁止

- 充電台に液体を付着させない
(感電・ショート・過熱による変形・発火・故障の原因)



指示

- ACアダプターを抜く時は、コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜く
(感電やショートによる発火の原因)



指示

- 長時間使わない時はACアダプターをコンセントから抜く
(絶縁劣化による火災・感電の原因)



禁止

- 火気に近づけない
(本体が変形し、ショート・発火・故障の原因)

- 排気口はふさがらない
(過熱による本体の変形・発火・故障の原因)

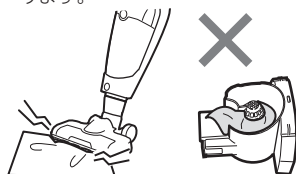


禁止

- 吸込口をふさいで長時間運転しない
(過熱による本体の変形・発火・故障の原因)

- 大きなゴミを吸込ませない

(過熱による本体の変形・発火・故障の原因)
お菓子やタバコの包み紙など(フィルム状のようなもの)を吸わせると、サイクロンカップが詰まり、ゴミを吸わなくなったり、ゴミ漏れのおそれがあります。



指示

- フィルターは純正を使う

(火災・故障の原因)
純正のフィルター以外のものを使うと、モーターや制御盤の発熱・発火・故障の原因になります。

バッテリー (ハンディボディに内蔵) について

⚠ 危険

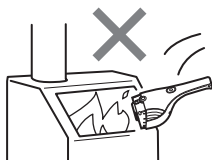


禁止

- 端子同士を金属類で接続しない。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり保管しない
(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)

- 専用の充電台・ACアダプター以外使用しない。またAQC-LX1F以外に使用しない
(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)

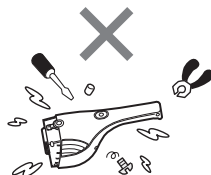
- 火の中に投入したり、加熱しない
(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)



禁止

- バッテリーを分解・改造しない

(液漏れ・発熱・発火・感電・破裂の原因)
液漏れ・破裂・過電流や充電制御ができなくなり、たいへん危険ですのでおやめください。



指示

- 漏れたバッテリー液が目に入った場合、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。
(目に障害を与える原因)

警告



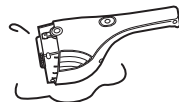
禁止

- バッテリーの液もれ・変色・変形・その他、今までと異なることに気付いたときは使用しない
(発熱・発煙・破裂・発火の原因)
- 本体を落下させたり衝撃を与えない
(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)
- バッテリーに水や海水をかけたり、水中に入れたりしない
(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)



指示

- 漏れたバッテリー液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流す
(皮膚がかぶれたりする原因)



注意



禁止

- バッテリーや本体は普通のゴミと一緒に捨てない
(発火・環境破壊の原因)



指示

- 本体が異常に熱くなっている場合、冷えるまで待ってから交換する
(やけどの原因)
- 室温が約5~35℃のところで充電する
正しく充電されず、充電時間が長くなる場合があります。また、電池劣化の原因となります。
- 所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、電源プラグを抜く

使用上のお願い

本製品を快適、安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

バッテリーについて

- 充電中に本体が熱くなることがあります。十分に冷めるのを待ってご使用してください。
- 初めてご使用になるときや長時間使用しなかった場合は、電池が過放電になっていて、使用時間が短くなる場合があります。その時は本体が停止するまで運転し、充電することを2~3回繰り返してください。
- バッテリーは消耗品です。可動時間が短くなってきたら、新しいバッテリーと交換してください。
※ハンディボディ(バッテリー内蔵)を交換する⇒16 ページ

使いかたについて

- フィルターセット、吸気口フィルターは必ず付けてください。
- 連結ノズルの先端でお掃除をしないでください。
- 充電中は運転できません。
- 吸込口、排気口をふさがないでください。
- 点検、ゴミ捨て、お手入れなどを行うときは本体よりハンディユニットを取り外してください。

各部のなまえ

本体

ハンディユニット

ハンディボディ

運転入/切ボタン
/LEDランプ
 バッテリー(内蔵)
 ダストカップ
 取り外しボタン
 吸気口フィルター

(裏側)

ハンドル
 排気口
 接続端子

フィルターセット
 フィルター
 スポンジ
 サイクロン
 カップ
 逆流防止弁
 ダストカップ
 吸込口

スティック本体

ハンドル

ハンディユニット
取り外しボタン

運転切替ボタン
(▶9ページ参照)

取り付けネジ
(梱包時は本体に取り
付けてあります。)

接続端子

パワーブラシ
 取り外しボタン

フック
 充電端子
(2カ所)

回転ブラシ ストッパー

LEDライト

パワーブラシ

充電台

充電端子

電源端子

連結ノズル/
 マルチノズルは
 充電台に収納
 できます。

ACアダプター

プラグ

コード

マルチノズル

連結ノズル

ご使用前の準備

*初めてご使用になるときは、以下の方法で組み立ててからご使用ください。

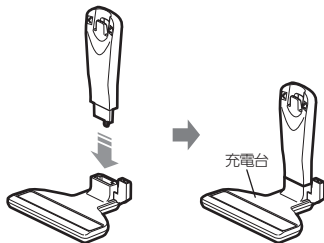
組み立てかた

1 充電台を組み立てる

※図のように“カチッ”と音がするまで確実に差込んでください。

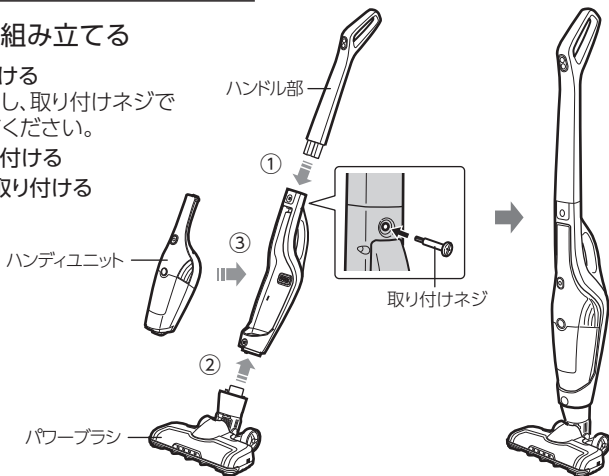
ご注意

充電台は水平な床の上に設置してください。



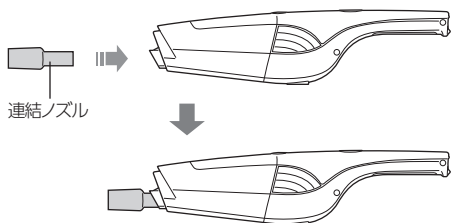
2 スティック本体を組み立てる

- ① ハンドル部を取り付ける
※コインなどを使用し、取り付けネジで確実に取り付けてください。
- ② パワーブラシを取り付ける
- ③ ハンディユニットを取り付ける



マルチノズルを使う

① ハンディユニットに連結ノズルを取り付ける



② 連結ノズルにマルチノズルを取り付ける

- スキマノズルとして使用する場合

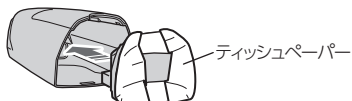


- ブラシノズルとして使用する場合



ティッシュでブロック

※サイクロンカップとフィルターセットの間にティッシュペーパーをはさんでご使用ください。
「お掃除のあとに」ティッシュでブロック➡12ページ



ティッシュペーパーがダストカップからはみ出ないように取り付ける。

充電のしかた

* 充電の目安は約 4.5 時間です。(充電時間は温度やバッテリーの状態により若干のバラつきがあります)
* 初めてご使用になるときや、バッテリー残量がないときは 4.5 時間以上充電する場合があります。

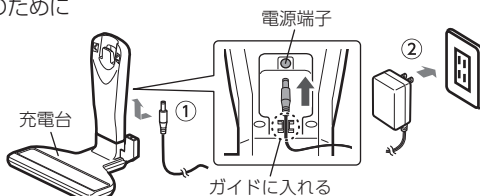
1 ① 充電台の電源端子に AC アダプターのプラグを接続し、

② AC アダプターをコンセントに差し込む

※ AC アダプターのコードは、端子の抜け防止のために充電台のガイドに入れてください。

ご注意

- 充電台は水平な床の上に設置してください。
- 電源は必ず交流 100V で、付属している専用の AC アダプターをご使用ください。
- AC アダプターのプラグをスティック本体に差し込まないでください。



2 ハンディユニットをスティック本体に取り付ける

※ 吸込口を本体に差し込み、「カチッ」と音が2回するまでゆっくり確実に取り付けてください。

ご注意

ハンドル側を先に入れて無理に取り付けしないでください。



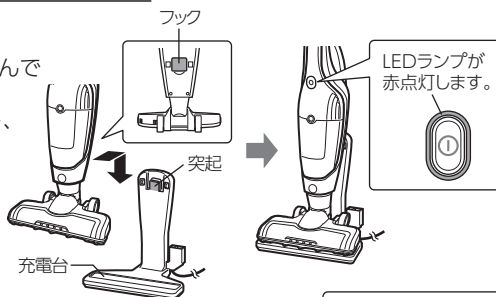
3 本体を充電台にセットする

※ 本体裏側のフックを充電台の突起に差し込んでセットしてください。

ハンディユニットの LED ランプが赤点灯し、充電を開始します。

お知らせ

充電中にハンディユニットや AC アダプターが熱くなりますが、異常ではありません。

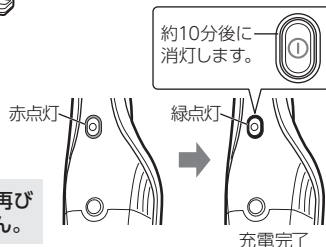


4 充電完了

ハンディユニットの LED ランプが赤から緑に変わると充電完了です。緑点灯は約 10 分後に消灯します。

お知らせ

LED ランプが消えている時にスティック本体を充電台から取り外し、再び充電台にセットすると LED ランプが点灯しますが、異常ではありません。



お願い

- 使用時間にかかわらず、掃除が終わったあとは必ず充電してください。
- 長期間 (1 か月以上) 使用しないときは満充電にして、AC アダプターをコンセントから抜いてください。ただし 2 か月に 1 回は AC アダプターを差して満充電になるまで充電してください。(バッテリー残量のない状態で保管するとバッテリーの性能や寿命の低下の原因)

お掃除のしかた

*連続運転時間は約60分間です。(新品、満充電、「標準」運転時。「強」運転時は約23分間)

*電池の容量は徐々に減少しますので、連続運転時間は短くなっていきます。

スティック本体を使う

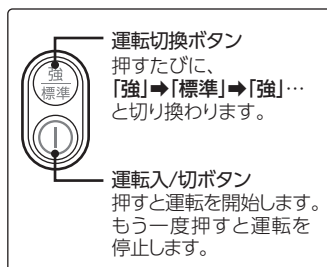
1 掃除を始めるときは

スティック本体の**運転入/切ボタン**を押す
モーターが回転し、ゴミの吸引を開始します。
運転中は、ハンディユニットのLEDランプ(緑)と
パワーブラシのLEDライト(白)が点灯します。

お知らせ

運転中のLEDランプについて

バッテリー残量がある場合……緑点灯
バッテリー残量が少ない場合……緑点滅



2 吸引力の強さを変えたいときは

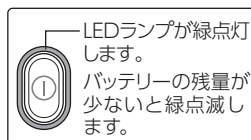
運転切換ボタンを押す

押すたびに「強」と「標準」が切り換わります。

※運転開始の吸引力は「強」です。

※ハンディユニットの運転入/切ボタンでも運転開始/停止ができます。

(この場合、吸引力は「強」となります。)



3 掃除が終わるときは

もう一度運転入/切ボタンを押す

モーターが停止し、ハンディユニットのLEDランプ(緑)と
パワーブラシのLEDライト(白)が消灯します。

白点灯

ハンディユニットを使う

1 掃除を始めるときは

ハンディユニットの**運転入/切ボタン**を押す

モーターが回転し、ゴミの吸引を開始します。

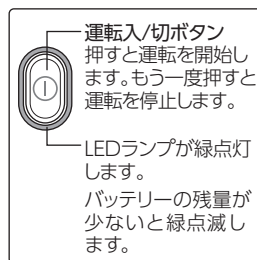
運転中はLEDランプが緑点灯します。

※吸引力は「強」で、吸引力の強さは変えられません。

2 掃除が終わるときは

もう一度運転入/切ボタンを押す

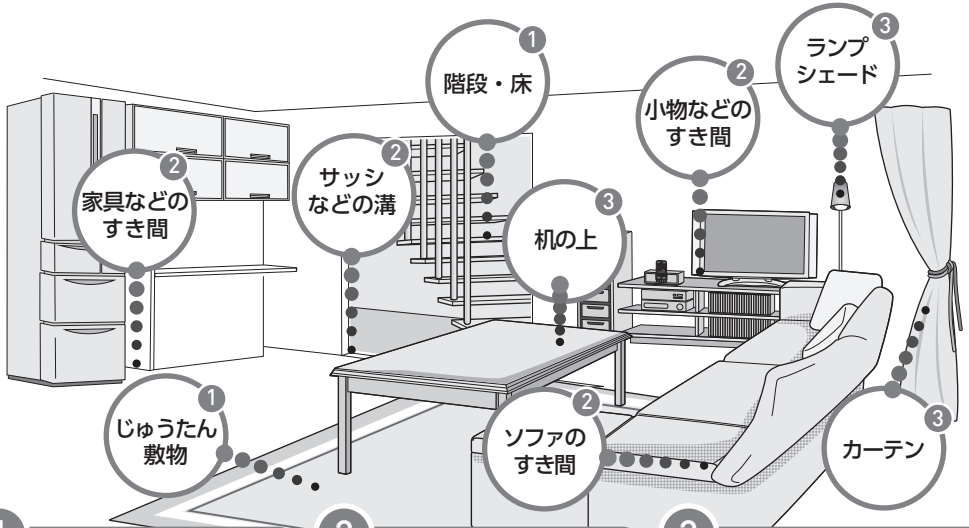
モーターが停止し、LEDランプ(緑)が消えます。



ご注意

- 運転中はスティック本体から手を離さないでください。スティック本体が転倒し、けがの原因となります。
- ハンディユニットを取り外した状態でスティック本体を自立させないでください。スティック本体が不安定になり、転倒しやすくなります。
- 運転中は必ずフィルターセットを取り付けてご使用ください。
- 異物を吸込んだときはすぐに運転を停止してください。
- フィルターセットが目詰まりした状態で使用し続けると、故障の原因となります。定期的にお手入れを行ってください。お手入れ「ハンディユニット」▶15 ページ

場所に合ったお掃除のしかた



1

スティック本体 パワーブラシ

マット、じゅうたんなど「強」運転
毛足の長いじゅうたんの場合、回転ブラシが止まる場合があります。



床、階段、畳など「標準」運転
畳・フローリングは、目に沿って軽くすべらしてください。

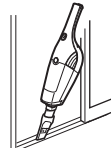
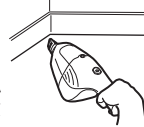


ソファの下などの暗い場所では、パワーヘッドのLEDライトが便利です。

2

ハンディユニット スキマノズル

部屋のすみ、家具、小物などのすき間
床などには強く押し付けしないでください。傷が付くおそれがあります。

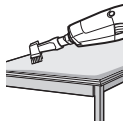


サッシの溝など溝に沿ってすべらしてください。吸込口が狭いので大きなゴミは手で取り除いてください。

3

ハンディユニット ブラシノズル

テーブルや机の上、小物など
小物などには強く押し付けしないでください。傷が付くおそれがあります。



カーテンやランプシェードなど
カーテンなどの布類をお掃除する際はブラシのお手入れを行ってからご使用ください。

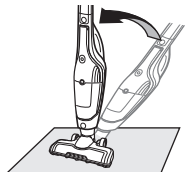
コードレス スティック クリーナーの自立について

コードレス スティック クリーナーは床と垂直になるように立てると自立します。

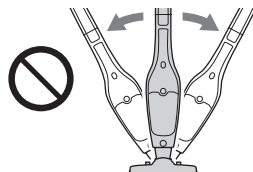
※自立させるときは必ず運転を停止してください。

※自立させたまま放置しないでください。

※自立させた状態で、スティック本体だけを横に倒さないでください。(パワーブラシの破損の原因)



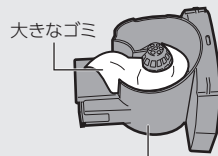
床と垂直になるように立てる



自立した状態では、横に倒さない

ご注意

大きなゴミを吸い込ませないでください。お菓子やたばこの包み紙など(フィルム状のようなもの)を吸わせると、サイクロンカップが詰まり、ゴミを吸わなくなったり、ゴミ漏れのおそれがあります。



大きなゴミ
サイクロンカップ

お掃除のあとに

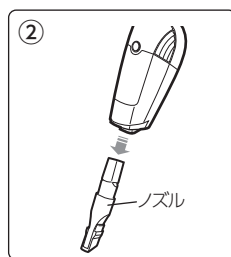
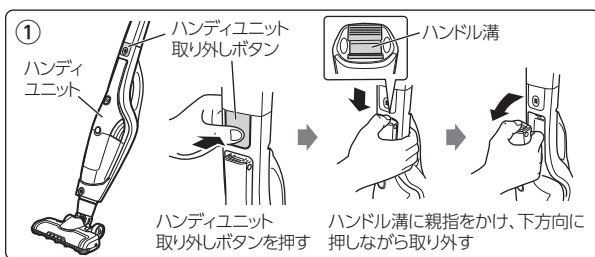
お掃除が終わったらこまめにゴミを捨ててください。

ゴミの捨てかた

ご注意

ゴミを捨てるときは、必ず運転を停止した状態で行ってください。

- ①ハンディユニット取り外しボタンを押し、スティック本体からハンディユニットを取り外す(取り外しにくい場合は、取り外しボタンを押した状態で取り外す)
- ②ハンディユニットにノズルを付けてご使用の場合はノズルを取り外す

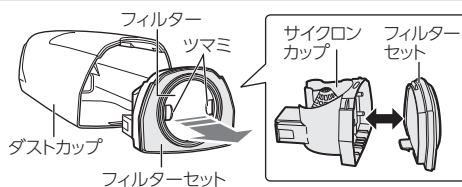


- 2 ハンディユニットのダストカップ取り外しボタンを押し、ダストカップを取り外す
※ゴミが飛び散る場合がありますので、新聞紙などを敷いて取り外してください。



- 3 ダストカップから、サイクロンカップ、フィルターセットを取り外す

※フィルターを外すときはつまみを持って手前に引いて取り外してください。



ご注意

- フィルターを押さえたり、つまんだりしないでください。フィルターが破れるおそれがあります。

サイクロンカップとフィルターセットの分解は、「ティッシュでブロック 5」参照▶12ページ

- 4 ダストカップやサイクロンカップ、フィルターセットに溜まったゴミを捨てる
※ゴミが飛び散らないように気をつけてください。

お知らせ

汚れが気になる場合は、お手入れをしてください。
「お手入れ」▶13ページ



ティッシュでブロック

サイクロンカップとフィルターセットの間にティッシュペーパーをはさんでおくことで、フィルターやスポンジにゴミが付きにくくなり、お手入れが簡単になります。

5 サイクロンカップからフィルターセットを取り外す

※フィルターセット下部のフック (PUSH) を押して取り外してください。
※取り外したティッシュペーパーは捨ててください。

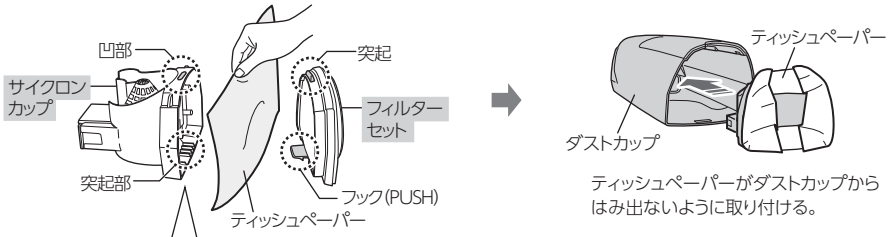


ご注意

- フィルターを押さえたり、つまんだりしないでください。フィルターが破れるおそれがあります。

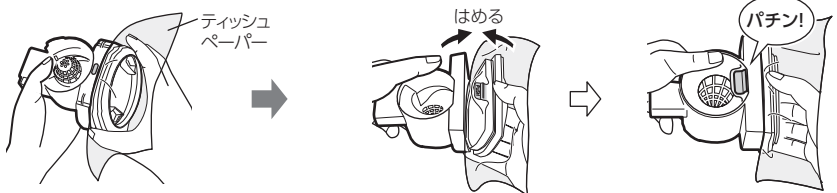
6 ティッシュペーパーをサイクロンカップとフィルターセットの間にはさみ、ダストカップに取り付ける

※はみ出したティッシュペーパーは、フィルターセットを巻き込むように折り曲げてください。



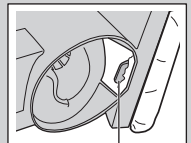
フィルターセットをサイクロンカップに取り付けるには

- ① フィルターセット上部の突起をサイクロンカップ上部の凹部にはめる
- ② フィルターセット下部のフック (PUSH) をサイクロンカップ下部の突起部にはめる



ご注意

- ティッシュペーパーは市販の2枚1組のものを使用してください。
- むれたティッシュペーパーや破れたティッシュペーパーは使用しないでください。
- ティッシュペーパーを取り付けるときに、フィルターセット下部のフック (PUSH) でティッシュペーパーが破れることがありますのでご注意ください。
※ティッシュペーパーが破れてしまった場合は、フィルターセット (フィルター、スポンジ) の一部にゴミが付着することがありますのでゴミ捨て時にお手入れを行ってください。



フック (PUSH)

7

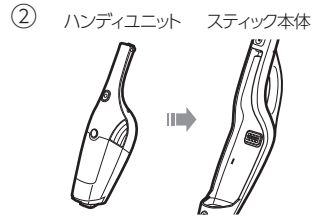
①ダストカップをハンディボディに取り付ける

※ダストカップの穴とハンディボディの突起を合わせ、“カチッ”と音がするまで確実に取り付けてください。



②ハンディユニットをスティック本体に取り付ける

※ハンディユニット単体でご使用の場合はそのままお使いください。



お手入れ

*お手入れはこまめに行ってください。

*お手入れを行う際は、必ず運転を停止し、ACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。

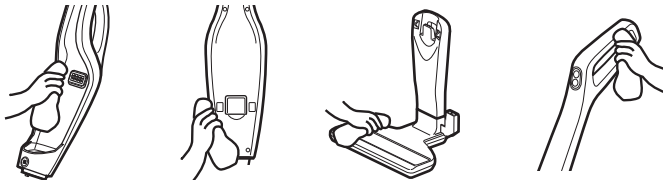
ご注意



このアイコン表示がある場合、絶対に水洗いや水拭きをしないでください。

本体、充電台、ハンドル

本体や各端子に付いた汚れを乾いた柔らかい布でふき取る

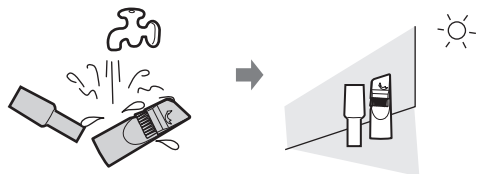


ご注意

- シンナー・ベンジン等を使わないでください。変質、変色の原因となります。
- 絶対に水洗いしないでください。

連結ノズル、マルチノズル

連結ノズル、マルチノズルに付いた汚れを柔らかい布でふき取る
 汚れが落ちない場合は、水または薄めた中性洗剤で洗う

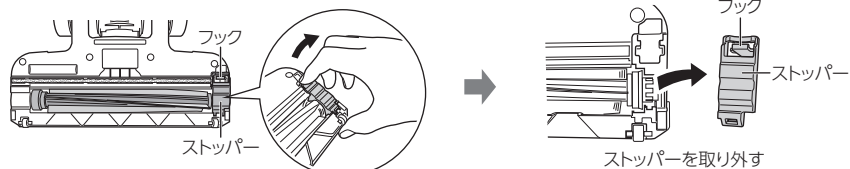


ご注意

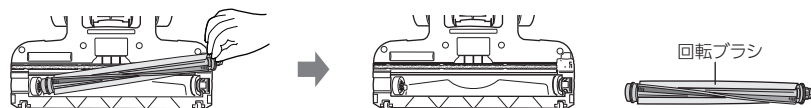
- 水または薄めた中性洗剤で洗った場合は、必ず陰干しして十分に乾燥させてください。
- 直射日光のあたる場所や、ドライヤーなどで乾燥しないでください。

1 回転ブラシをパワーブラシから取り外す

- ① ストッパーのフックをつまんで取り外す

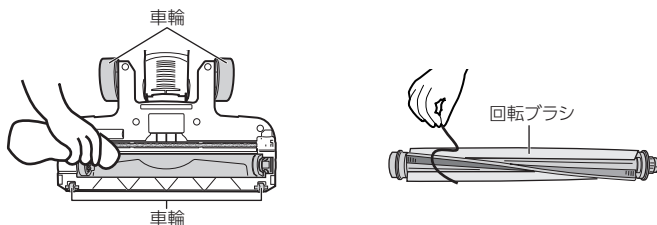


- ② 回転ブラシを取り外す



2 パワーブラシ、回転ブラシ、車輪のお手入れをする

- パワーブラシに付いたゴミや汚れを乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 回転ブラシや車輪に付いたゴミや髪の毛などを取り除いてください。



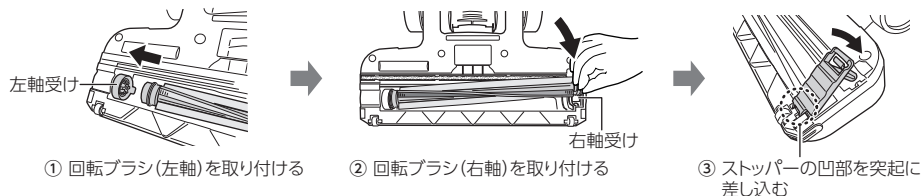
ご注意

- パワーブラシ、回転ブラシは絶対に水洗いしないでください。
(接続端子が錆びたり、回転ブラシモーター故障の原因)
- 回転ブラシの軸部や車輪にからんだ髪の毛やごみは、はさみなどを使い取り除いてください。



3 回転ブラシをパワーブラシに取り付ける

- ① 最初に回転ブラシ(左軸)を左軸受けに取り付ける
- ② 右軸受けに回転ブラシ(右軸)を取り付ける
- ③ ストッパーの凹部を突起に差し込み、「カチッ」と音がするまで確実に取り付ける



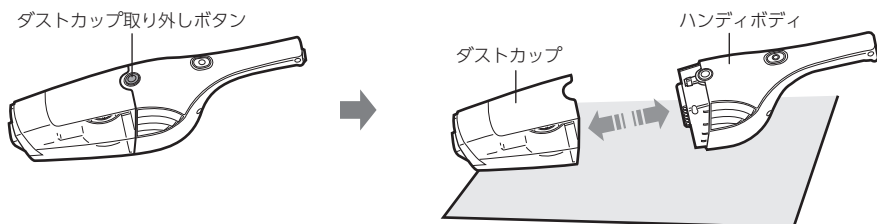
- ④ 回転ブラシやストッパーが正しく取り付けられていることを確認してください。

ハンディユニット

フィルターセットは消耗品です。フィルターセットを交換する⇒16 ページ

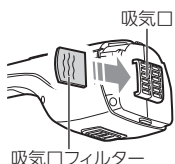
1 ハンディユニットからダストカップを取り外す

※「お掃除のあとに」⇒11ページを参考にダストカップを取り外してください。

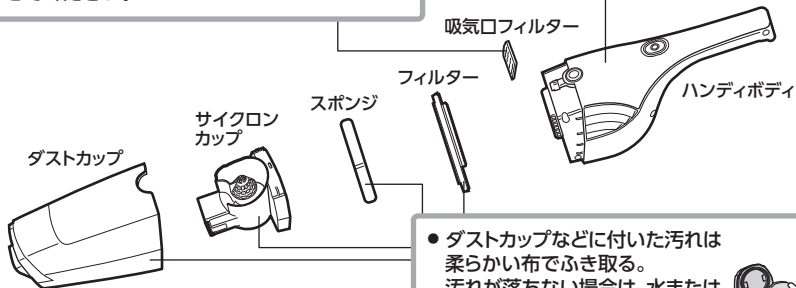
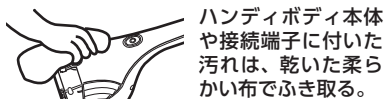


2 ハンディユニットの各部をお手入れする

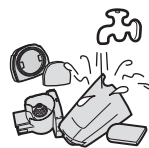
吸気口フィルターは、フィルターセットの付け忘れ時に、モーターへの粗ゴミの侵入を防止するものです。定期的に（1か月に1回を目安）お手入れをしてください。汚れがひどい場合は水洗いし、陰干しして十分に乾燥させてください。



ハンディボディは絶対に水洗いをしてください。
(故障、破損の原因)



- ダストカップなどに付いた汚れは柔らかい布でふき取る。汚れが落ちない場合は、水または薄めた中性洗剤で洗う。
- フィルター外周に付いたゴミを取り除く。





ご注意

- 水または薄めた中性洗剤で洗った場合は、必ず陰干しして十分に乾燥させてください。
- 直射日光のあたる場所や、ドライヤーなどで乾燥しないでください。

3 ダストカップをハンディボディに取り付ける

別売品

表の部品は消耗品 (有料) です。交換時期を目安に、破損・劣化してきたら交換してください。
お買い求めは、お買い上げの販売店または当社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。→19ページ

部品名	品番	個数	交換時期の目安	希望小売価格
フィルター セット 	AQC-FLTDX2 (商品扱い)	1個	お手入れをしても吸引力が弱くなってきたら交換してください。	1,100円(税込)
ハンディ ボディ 	0530045911 (サービス扱い)	1個	可動時間が著しく短くなったら交換時期です。	8,800円(税込)

バッテリーを交換する際は、ハンディボディを交換してください。
(バッテリーはハンディボディに内蔵されています)

(希望小売価格は2021年5月現在)

フィルターセットを交換する

ハンディボディ(バッテリー内蔵)を交換する

古いフィルターセットを取り外し、新しいフィルター ハンディボディを外し、新しいハンディボディと交換する。
セットを取り付ける

故障かな? と思ったとき

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照 ページ
運転しない または 運転中に止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●本体が異常に熱くなっていますか。 ➔電池の温度が高くなったときは、電池の過熱を防ぐため、本体が自動的に停止することがあります。ダストカップのゴミを捨て、本体が冷めてから、再び運転してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●充電台にセットされていませんか。 ➔充電台から取り外してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●ハンディユニットが正しくセットされていますか。 ➔ハンディユニットをスティック本体に“カチッ”と音がするまで確実に取り付けてください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●バッテリーが少なくなっていますか。 ➔充電してください。 	8
運転中にLEDランプが赤と緑に 交互点滅する (運転は継続)	<ul style="list-style-type: none"> ●吸込口に異物が詰まっていますか。 ➔異物を取り除いてください。 	14
	<ul style="list-style-type: none"> ●回転ブラシの軸部に髪の毛やごみがからんでいませんか。 ➔からだ髪の毛やごみをはさみなどを使い取り除いてください。 	14
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●バッテリーの寿命ではありませんか。 ➔バッテリーの交換をしてください。 	16
	<ul style="list-style-type: none"> ●専用の充電台、ACアダプターを使っていますか。 ➔専用の充電台、ACアダプターを使ってください。 	8
	<ul style="list-style-type: none"> ●充電台に正しくセットされていますか。 ➔ACアダプターがコンセントにしっかり差し込まれているかACアダプターのプラグが充電台の電源端子にしっかり差し込まれているか確認してください。 	8

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンディユニットが正しくセットされていますか。 ➔ハンディユニットをスティック本体に“カチッ”と音がするまで確実に取り付けてください。 	8
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体と充電台、またはハンディボディと本体の各端子に異物が付着していませんか。 ➔お手入れしてください。 	13
充電満量だが 運転時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーの寿命ではありませんか。 ➔バッテリーの交換をしてください。 	16
	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーが過放電になっていませんか。 ➔本体が停止するまで運転し、充電することを2～3回繰り返してください。 	5
本体や充電台、 ACアダプターがあたたかい	<ul style="list-style-type: none"> ● 制御回路に電流が流れたり、モーターの動作による熱です。 (異常ではありません。) 	—
運転音が大きくなった 大きな音がする	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸込口またはサイクロンカップに異物が詰まっていますか。 ➔異物を取り除いてください。 	15
	<ul style="list-style-type: none"> ● ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。 ➔ゴミを捨ててください。 	11～13
	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターセットが外れていませんか。 ➔フィルターセットを確実にセットしてください。 	12、13
	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターセット、吸気口フィルターが汚れていませんか。 ➔フィルターセット、吸気口フィルターのお手入れをしてください。 	15
吸引力が弱くなった	<ul style="list-style-type: none"> ● ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。 ➔ゴミを捨ててください。 	11～13
	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターセット、吸気口フィルターが汚れていませんか。 ➔フィルターセット(スポンジとフィルター)、吸気口フィルターのお手入れまたは交換してください。 	15
	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルター外周とサイクロンカップの間に空気漏れがありませんか。 ➔フィルターの寿命です。フィルターセットを交換してください。 	15、16
	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーブラシの回転ブラシに大きなゴミなどが詰まっていますか。 ➔ゴミなどを取り除いてください。 	14
	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーが少なくなっていますか。 ➔充電してください。 	8
回転ブラシが回らない	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーブラシに大きなゴミが詰まっていたり、回転ブラシにゴミや糸くずが巻き付いていませんか。 ➔異物を取り除き、お手入れをしてください。 	14
	<ul style="list-style-type: none"> ● 回転ブラシはパワーブラシにしっかり取り付けられていますか。 ➔正しくセットしてください。 	14
排気口からゴミの 臭いがする	<ul style="list-style-type: none"> ● 臭いの強いゴミを集じんしたまま放置しておく、運転直後にゴミの臭いがすることがあります。 ➔ゴミを捨ててください。 	11～13
	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターセットが汚れていませんか。 ➔フィルターセットのお手入れまたは交換してください。 また、水洗いした場合は充分に乾かしてからご使用ください。 	15
ダストカップが本体に 装着できない	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターセットが正しく取り付けられていますか。 	12、13

※ 上記解決方法を行っても症状が改善されない場合は、お客さまご相談窓口かお買い上げの販売店にご相談ください。
お客さまご相談窓口➔19 ページ

仕様

品番	AQC-LX1F	
電源(ACアダプター)	入力：AC100-240V 50/60Hz 出力：DC30.0V 500mA	
コード長さ(ACアダプター)	1.8m	
消費電力	約15W (本体充電時)	
電源方式	充電式 (バッテリー：リチウムイオン電池 25.2V セル数：7)	
充電時間	約4.5時間	
運転時間	強：約23分 標準：約60分 ※使用環境により異なります。	
集じん容積	0.3L	
外形寸法	スティッククリーナー	幅 255 × 奥行き 175 × 高さ 1070 (mm)
	ハンディユニット	幅 115 × 奥行き 105 × 高さ 413 (mm)
	充電台	幅 263 × 奥行き 194 × 高さ 287 (mm)
質量	スティッククリーナー	2.6kg (ハンディユニット：1.2kg含む)
	充電台	0.6kg (ACアダプター含む)

製品の廃棄について ※この製品はリチウムイオン電池を使用しています。

ハンディボディ



お願い

リサイクルにご協力ください

ハンディボディに内蔵されているバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み製品の廃棄の方法に関しては、お住まいの自治体にお問い合わせのうえ、リサイクルにご協力をお願い致します。
※自治体により、回収のルールが異なります。



Li-ion 22

保証とアフターサービス

保証書 (取扱説明書裏面)

この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で発行しますので、保証書の「販売店・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理サービス

使用中に具合が悪くなったときは、「故障かな?と思ったとき」▶16～17ページに従って調べてください。直らないときは、内部機構をさわらずにACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は、保証書の記載内容により販売店が修理いたします。
- 保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。
- 保証期間がすぎているときは、修理により機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理となります。

補修用性能部品の保有期間

コードレスクリーナーの補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後 6年**です。

- ・補修用性能部品…その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

保証期間をすぎてもご要望により有料で修理させていただきます。

修理料金は、以下の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張費	ご依頼により技術者を派遣する費用です。

まずはお買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談できない場合は、19ページの相談窓口にお問い合わせください。

お客さまご相談窓口

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記のご相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談

〈アクア株式会社〉

受付時間：(365日) 9:00~18:30

総合相談窓口

固定電話からは



0120-880-292

携帯電話・PHSからは



0570-040-292 (有料)

FAXでご相談される場合



0570-013-790 (有料)

家電商品の修理サービスについてのご相談

〈アクア株式会社〉

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:30

土曜・日曜・祝日 9:00～17:30

修理相談窓口

固定電話からは



0120-778-292

携帯電話・PHSからは



0570-030-292 (有料)

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ <http://aqua-has.com/> をご覧ください。

長年ご使用のコードレス スティック クリーナーの点検を！

こんな症状は
ありませんか

- 運転ボタンを押しても、運転しない。
- ACアダプターやコードを動かすと、通電したり、しなくなったりする。
- 運転中、ときどき止まる。
- 異常な音ができる。
- 本体や充電台が変形していたり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがある。

ご使用
中止

このような症状のときは、故障や事故の防止のため、すぐに運転を停止し、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店へ点検・修理をご相談ください。

アクア 株式会社

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号

VSS01A14PM-015-MN05